

保護者の意見も聞いた

宇野学区ミニユニティハウス



既報(本紙12号、昨年八月)のように岡山市内で児童ひとり当たりの運動場面積が一番狭い宇野小学校の二階建て体育館下に、地域のミニユニティハウスを建てる計画が進められていました。予定

地は、子どもたちの大好きな遊びの場所です。

一昨年五月、学区内各種団体の会長と当時のPTA会長(市会議員)が、市民総務課に申し入れ市長の判断で決まり、昨年の六月議会で調査設計予算が付いたようです。この時、初めて稲葉市議から知らされて驚きました。保護者には何も知らされないまま、事が進められようとしていました。

学校側やPTA役員に説明を求めましたが、「もう決まった事だから進めるしかない。」などと、子どもや保護者の意見を聞く姿勢は全くありませんでした。多くの保護者は納得できず、安全面について

とても不安がありました。

稲葉市議のアドバイスもあり、子どもたちの登校時に門前ビラを配り、保護者に事実と皆が反対すればまだ間に合うという事を知らせ、意見を集約しました。意見を寄せられた人たちと話し合いを重ね、ねばり強く学校・PTAに申し入れ、ついに臨時PTA総会が開かれることになりました。そこで「過半数の反対」という結果になり、地域の準備会も体育館

希望者全員
入園できる
高島幼稚園の3
歳クラスに、要
望どおり希望者
全員(来年度は、



38人)入園できるようになりました。

東岡山駅にエレベーター

東岡山駅がバリア・フリー化され、南北の改札口とホームに3基のエレベーターがつけました。



改札口までは、スロープがつき車イスの方が一人で電車に乗り降りできるようになり、ホームと電車の段差もなくなりました。

長年、公共交通機関のバリア・フリー化を要望し「交通バリア・フリー法」が制定されて、岡山市内では西大寺駅につづき2ヶ所目に実現しました。他の駅も、早急にバリア・フリー化の要望を続けていきます。



道にガード
レールを
2月18日、祇園、
グリーンシャワー
近辺の道路を安全
に散歩できるように
という要望に応

えて、市の担当課の方と一緒に視察しました。

稲葉泰子



高島駅の改善を要望

一月十七日、稲葉市会議員とともにJR西日本旅客鉄道株式会社を訪ね、医療生協高島支部を代表して、課長代理に要望書を手渡しました。
「JR高島駅の夜間無人化をしないでください」「高島駅のバリア・フリー化を早期に実現してください」「高島駅近くにタクシー待合所と一般車の停車場を設置してください」という内容です。

(岡山医療生協高島支部長 中村)

下へは建てることを決めました。私たちは「ミニユニティハウスは必要と考えていますので、適当な場所があれば実現することを望んで

います。

今回のことで、民主的なPTA活動についても学びました。

(PTA会員 豊田依子)